



公明党 田畑 たき子

22

### 高次脳機能障害者の支援

**問**高次脳機能障害の発症初期への対応によつてはその後の認知症を遅らせることもできると感じるが、今後、どのような支援が必要か伺う。

**答**福祉部長 川越市障害者支援計画策定のためのアンケート調査で、今後、市に求める取り組みとして、働く場の充実や医師等がチームとなった相談体制の充実などがあつた。

こうしたことから、川越市民サービスステーション内の障害者総合相談支援センターで相談体制をさらに充実するとともに、県総合リハビリテーションセンターで実施する職員研修や県の高次脳機能障害者支援センターと連携することで、高次脳機能障害者のニーズに対応していきたい。

**問**高次脳機能障害者支援



### 公明党 小ノ澤 哲也

23

### コロナ禍における修学旅行

**問**コロナ禍での修学旅行のため、感染症対策を行うことで児童生徒の積立金より旅費が高くなつてしまふ可能性はあるか？

**答**学校教育部長 バスの台数や部屋数を増やして使用する人数を減らしたり、食事を個別の提供とし人数によつては2グループに分けたりするなどの感染症対策を行うことで、当初計画していたよ

り費用が掛かつてしまふ可能性もあることから、場合によつては積立金より高額となる可能性がある。

しかしながら、修学旅行は国のGOTOトラベル事業の対象になつているので、これを活用することで、修学旅行の積立金の範囲で対応できるものと考ええる。

**問**コロナ禍の学校の課題



政晴会 樋口 直喜

24

### 財政状況の改善へ向けて

**問**厳しい財政状況の中、計画と予算の連携や評価と改善の在り方など、計画的な行財政運営に課題が見られるが、財政状況改善への意気込みを伺う。

**答**栗原副市長 今年度の予算執行では、新型コロナウイルスの影響による収入の減少に対応した歳出の執行抑制に取り組みとともに、来年度の予算編成に向け抜本的な事務

事業の見直しを進め、行財政改革の具体的な指針等の策定も検討したい。また、限られた財源で効果的かつ効率的な行財政サービスを提供するため、計画と財源との関係性に留意するとともに、継続的に事業を改善する仕組みの検討を進め、総合計画が描くまちづくりの実現を目指していきたい。

**問**今後の行財政運営



政晴会 川口 啓介

25

### 指定避難所の収容可能人数

**問**指定避難場所の収容可能人数について、通常の場合と比べて、コロナ禍においてはどうか伺う。

**答**危機管理監 63カ所の指定避難所全体で、体育館を利用した場合の収容可能人数は3万1940人としていたが、コロナ禍においては感染症対策を行う必要があるため、5848人と想定している。

算出根拠は、川越地域防災計画において、1人当たりの占有面積を畳1枚分の1・65㎡と設定している一方、コロナ禍においては、国や県の通知等を踏まえ、世帯ごとの居住スペースを1区画当たり9㎡、各区分の間隔を2mとし、1区画当たり4名として算出している。

**問**水害対応および対策



清令会 矢部 節

26

### 農業者の担い手育成は

**問**農業者の高齢化と減少が今後10年間に急速に進むという見込みに対して、どのような施策で担い手確保をしようとしていくのかを問う。

**答**産業観光部長 市内各地域の人・農地プランにおいて地域の中心的な担い手として位置付けられた農業者へ農地の集積を図るとともに、ほ場整備

を計画的に行い、継承しやすい営農環境を整えていく。また、新規就農者に営農資金の支援を行うとともに、新たに農業に参入する企業や定年就農者、女性農業者などに対しても支援を行っていく。

**問**食料農業農村基本計画  
**問**インフラの老朽化  
**問**DMO川越

### ●インターネット中継のご案内●

本会議の様子は、インターネット中継によりご覧いただけますので、ぜひご活用ください。

- ・開催中の本会議を視聴したい ⇒ ライブ中継
- ・過去の本会議を視聴したい ⇒ 録画中継

※インターネット中継は、パソコン、スマートフォン、タブレット端末に対応しています

※委員会等のインターネット中継は行っていません

インターネット中継にアクセスするには

- ①【川越市議会ホームページ】から【議会中継】をクリックしてください。
- ②右の2次元コードからもアクセスできます。

